



地域のモルック大会に参加しました

現在の日本には実に多くの人々が居場所を失っています。私たちは対人関係の中で自己の存在確認ができる「場」が必要です。会社であるとか、学校であるとか、あるいは家庭や様々なグループにおいて、自分の役割が与えられ、認められている場所。そのような居場所が必要です。しかし、残念なことに、現在、多くの職場や家庭は私たちの居場所でなくなっています。

私たちの職場では、労働者は厳しい合理化と業績評価、さらにリストラの恐れの中で働いています。特にバブル崩壊後の就職氷河期と「派遣労働の解禁」以降、大量の派遣社員、非正規、臨時職員の雇用が全ての産業で生じました。現在では全雇用者の約4割が非正規雇用で働いています。正社員も常雇にリストラの対象になり、職場は多くの労働者にとって不安定な居場所であります。

家庭は、特に子どもにとって大切な居場所です。しかし、忙しい現代社会では、家族が一緒に過ごす時間が減少し、子どもの悩みや変化に気づきにくくなっているように思います。家庭内のコミュニ

私たちの職場では、労働者は厳しい合理化と業績評価、さらにリストラの恐れの中で働いています特にバブル崩壊後の就職氷河期と「派遣労働の解禁」以降、大量の派遣社員、非正規、臨時職員の雇用が全ての産業で生じました。現在では全雇用者の約4割が非正規雇用で働いています。正社員も常雇にリストラの対象になり、職場は多くの労働者にとって不安定な居場所であります。

家庭は、特に子どもにとって大切な居場所です。しかし、忙しい現代社会では、家族が一緒に過ごす時間が減少し、子どもの悩みや変化に気づきにくくなっているように思います。家庭内のコミュニ

「『地の塩』として」

評議員／西南学院大学経済学部教授 相模裕一

ケースが増えているように思います。

現在はAIの急速な進展の中、絶えず、存在していること。その尊さに触れるとき、私たちは人間の本当の美しさを教えられます。療育園に集う彼ら・彼女らは私たちに他者を思いやる「愛の手」を引き出してくれる社会にとってなくてはならない「不可欠な中心的な存在」と思います。

文科省と経済産業省は「経済成長に資する有能な人材育成」を高等教育に求めています。私たちの人物評価も学歴、収入、業績など社会での功績が中心です。しかしこのような人の価値を有用性、生産性に求める社会では、私たちはどこにも心休まる居場所を見つけることはできないように思います。

久山療育園は恵みのうちに50年の

こうした現代の効率性至上主義の社会にあつて、久山療育園は、まさに「地の塩」であり、力強い福音であります。

久山療育園の働きには「ミットレーベン」という素敵な言葉がありますが、私は「doing から being へ」と「Leave No One Behind」という言葉で久山療育園の働きを考えています。人間の価値は「何ができるか(doin g)」ではなく、「神に愛され、そこに存在していること(b e i して情熱を注ぎ続けてこられたス タッフの方々に、心から敬意を表し、お祝いを申し上げます。久山療育園 がこれからも、豊かな愛の源泉として、また新しい福祉社会づくりの拠 点として、地域を、そして私たちの 未来を照らし続けていくことを確信 しております。

皆様の歩みの上に、神様の豊かな祝福と平安がこれからも絶え間なく注がれますよう、お祈り申し上げます。

も捜し求めるイエスの姿を思います
まさに誰も置き去りにしない姿勢は
久山療育園の原点にも思えます。

愛の手を

第 224 号

発行責任者
社会福祉法人 パプテスト心身
障害児（者）を守る会
重症心身障害施設 久山療育園
重症児者医療療育センター
理事長 宮崎 信義
編集責任者 鍋 山 泰 三
福岡県糟屋郡久山町大字久原 1869
☎(代) (092)976-2281
FAX (092)976-2172

しました

理念と展望

「全国重症心身障害施設協議会に参加して」

理事長 宮崎信義

「愛の手を」223号（2026年4月号）では、創立理念と展望に「2026年創立50周年を迎えて」という主題で掲載致しました。ここから、久山療育園重症児者医療療育センターの2026年度年間主題は「創立50周年（2026年）～重症児（者）と共に50年」とし、開園祭テーマ「創立50周年（2026年）の展望・将来計画の策定（増床申請等）」と提案致しました。224号では、重症心身障害児・者施設の課題と展望を考察致します。

開園祭では感謝礼拝と末光茂氏による記念講演が行われます。末光茂先生は私が深く尊敬する御方で、長く日本重症心身障害福祉協会の役員を勤められ、旭川荘・旭川児童院の院長から理事長を務められた重症心身障害児者医療福祉事業の功労者です。

また園を挙げて創立理念50周年記念事業実行委員会を中心に、久山療育園重症児者医療療育センターの歴史とこれからの役割を果たすものとして、記念誌発行（歴史、利用者・保護者の声、地域からの声、活動報告等）や記念ビデオ作成（歴史、活動全般）、DVD（50周年記念・園紹介・人材確保等）作成が企画されています。更に記念事業として、増床計画推進、将来計画・中長期事業計画策定が論議されています。

久山療育園創立50周年に当たって

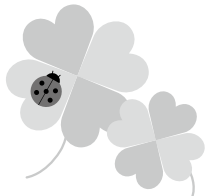
事務局長を中心として、創立理念50周年記念事業・行事企画が企画されています。記念行事としては、2026年9月12日「土曜日」の午後からレスポール久山を会場として記念式典（祝典、来賓祝辞等）と沢知恵さんのコンサートを計画しています。また9月23日の創立50周年記念

全国の重症心身障害施設の動向

6ページに後述致しますが、2026年5月21（22）日に開催された2026年度全国重症心身障害施設協議会に出席し、今後の重症心身障害児（者）施設の動向について考察致します。焦点としては、①「医療的ケア児（者）」への役割、②人材育成が挙げられます。行政や重症心身障害福祉協会でも、「人材育成についての検討会」及び「障害児入所施設の在り方に関する検討会」で協議され、その指針が示されることになると思います。「こども基本法、こども大綱について」に示される通り、対象者の人権が尊重され、適切な医療療育や経済保障が生活面や教育面でも確保されることだと思います。これは重症児者の年長化と共に家族・保護者の高齢化が差し迫っている現在、喫緊の課題だと思われれます。久山療育園重症児者医療療育センターでもその付託にしっかりと応えていくことを申し合わせています。

おわりに

これまでの神様のお導きと久山療育園の活動によって、「50年」という歴史が形成され守られてきました。全国でも例を見ないほどの支援者（ミットレーベンネットワーク、ボランティア活動、地域の方々の理解）の力も特筆すべきことでした。多くの課題を熟視しつつ、年間主題に掲げました「創立50周年（2026年）～重症児（者）と共に50年」、開園祭テーマ「創立50周年の展望・将来計画の策定（増床申請等）」に取組んで参りたいと思います。読者の皆様（支援者や地域の方々、法人・施設の役員）の今後のご支援とご指導を頂きたいと願っています。



『今年も「届けよう」』

今年もロジテム九州様よりコンプレックス式ネブライザー4台を献品いただき、3月に地域交流ホールで贈呈式を行いました。当日は職員の皆様が来園され、利用者さんと笑顔で言葉を交わしながら品物を手渡してくださいました。静かで新しい新ブライザーを前に、利用者さんも興味深そうに見つめ、和やかな雰囲気包まれた贈呈式となりました。地域とのつながりを感じる温かい時間となりました。私たち職員にとっても励みとなりました。ロジテム九州様のご支援に心より感謝いたします。

（看護部長 藤島信也）



人のからだと病気
第28回

「アレルギーのトリビア」

センター長／理事 岩 永 知 秋

■ペットアレルギー

我が国のペット人口（人口と言語は正しいのでしょうか？）は毎年増えているそうですが、時にペットが原因でアレルギーを起こす人がいます。これは、動物の唾液、毛汗、フケなどに含まれるいろいろなたんばく質が原因と考えられます。

ここでクイズです。犬と猫ではどちらがヒトにアレルギー反応を起こしやすいでしょうか？答えはネコの方がアレルギー反応を起こしやすいとされます。それぞれが持っているたんばく質アレルゲンの強さが、ネコのほうが大きいからです。俗に「通行ネコ」（ネコがそばを通るだけ）でもアレルギーが起るとさえ言われます。

正確な診断にはパッチテストが行われます。パッチテストとは、かぶれの原因と考えられる製品をパッチとして皮膚に貼り付けて、48時間後に皮膚の反応を判定するものです。

■アクセサリーがアレルギーを起こす？

アクセサリーと言うとずつと以前は女性のものでしたが、最近は男性もアクセサリーを付ける人が増えてきました。その中でピアスやネックレス

がアレルギーを起こすことがあります。これらのアクセサ

リーが触れる肌、湿疹などのアレルギー症状を起こすことがあるのです。汗で金属がイオン化し、皮膚から体内に侵入するためと考えられています。ニッケル、クロム、コバルト、金などが多いとされます。また、頻度は多くありませんが、虫歯治療に挿入される銀歯も同様のメカニズムでアレルギー反応を起こすことがあります。

正確な診断にはパッチテストが行われます。パッチテストとは、かぶれの原因と考えられる製品をパッチとして皮膚に貼り付けて、48時間後に皮膚の反応を判定するものです。

「パンケーキ症候群」という名前をご存じでしょうか？おいしそうな名前がついていますが、ホットケーキやお好み焼きを食べたときに起こるアレルギーのことです。咳などの症状のほか、ひどいと呼

■パンケーキ症候群

吸が苦しくなることもありま

す。パンケーキだから小麦に

対するアレルギーかと思いきや、実は小麦粉やパンケーキ粉の中でダニが繁殖したため、ダニアレルギーなのです。なんと一緒にダニを食べている（！）のです。ダニは死骸でもアレルギーを起こすので、加熱しても防ぐことができません。小麦粉やホットケーキミックスなどを開封したら冷蔵庫で保管し、できるだけ早く使い切ることです。

■サーファーと納豆の不思議な関係

サーファーには特殊なアレルギーが見られることをご存じでしょうか。当然、海の中の生物やサーフボードなどを候補として挙げる人が多いでしょうね。ところがです。なんと納豆アレルギーなのです。「風が吹けば桶屋がもうかる」ということわざがありますが、それに近いのです。答えはクラゲです。サーフィンの際にクラゲに触れて感作されるのです。クラゲの出すたんばく質が、納豆のねばねばを作るたんばく質と抗原性（アレルゲンとしての性質）が近い

ためです。

■アニサキスにはアレルギーも

アニサキスという寄生虫を

ご存じですか。クジラやイルカなどの海の哺乳類に寄生する線虫ですが、その幼虫はサバ、イカ、サケなどの魚の内臓や筋肉に寄生します。これを人が食べると胃や腸の粘膜に侵入して、激しい腹痛を起

こします。「アニサキス症」として知られる「食中毒」でもあります。しかしアニサキスはそのほかにも別のメカニズムで障害を起こします。それがアレルギーです。アニサキスの幼虫体に感作されると、次回のアニサキス摂取がアレルギー反応を起こします。この場合アニサキスが死んでいても反応を生じ、じんましんや消化器症状などを起こします。

■妊娠中に食べるものが赤ちゃんに食物アレルギーを起こす？

これも俗説ですが、以前は信じられていました。たとえば、「妊婦は卵を食べないほうがいい」というものです。しかし、妊婦が特定の食べ物を食べるのを避けても、赤ちゃんの食物アレルギーの発症には関係がないことが明らかにされています。むしろ、特定の食べ物を妊婦が避けると、

妊婦の栄養状態に影響を与える可能性があります。医師と相談しながら、バランスの良い食事内容に心がける必要があります。

■食物依存性運動誘発アナフィラキシー

名前が小難しい、少し変わった食物アレルギーのひとつです。食べ物を食べただけではアレルギー症状が出ず、食後すぐに運動するとじんましんやショック状態を引き起こすことがあります。原因となる食物には小麦が多く、そのほかカニ、エビなどの甲殻類が代表として挙げられます。学童期以降この特殊な食物アレルギーのタイプが増加します。原因となる食物を食べた後非ステロイド系抗炎症薬を服用すると、症状が出やすくなる

ことが知られており、誘発試験として用いられることもあります。症状が強い場合、食後2時間は運動を避ける必要があります。

■花粉と果物の不思議な関係

これについては以前の原稿で述べたことがあり、簡単に記します。花粉症の人は、おとなになって急に果物や野菜に対してアレルギーを持つようになることがあります。な

ぜでしょう？それは交差反応という現象のためです。花粉に含まれる物質と果物などに含まれる物質に共通のものが、その両者に対してアレルギー症状が出るのです。花粉症の人の一部が果物アレルギーになるのですが、その代表的なものはカバノキ科花粉とバラ科の果物の組合せです。カバノキ科とはシラカバやハンノキなどで、わが国では北国に多いとされます。またバラ科の果物とはリンゴ、モモ、サクランボ、イチゴなどです。「PR10」というたんぱく質が共通の抗原（アレルギーの原因となるたんぱく質）とされます。

■花粉症いまむかし

「花粉症」という病気はいつ頃から始まったのでしょうか？驚くことに、実はこの病気が認識されたのは1961年と、比較的最近なのです。そして近年増加しており、私たちの身の回りできわめてありふれた病気となりました。有病率を見てみると、1998年には人口の19.6%であったのが、2019年には42.5%と、この20年で倍増する勢いです。この中で特にスギ花粉症が多く、日本人の38.8%がスギ花粉症と報告されています。私が医者になった頃はこ

どもの花粉症なんて、あまり聞いたことがありませんでした。しかし、1998年の調査で、5～9歳のスギ花粉症は7.5%であったのに対して、2019年には同じ年齢層で30.1%と、大人よりもその増加が激しく、約4倍となっています。

■「衛生仮説」

近年アレルギーを持つ人が増えていますが、その原因を説明する考え方の一つが「衛生仮説」です。生活環境が良くなり、感染症が減ったことで、ヒトのからだの中の免疫系に変調が起こり、アレルギー反応がおきやすくなった、という「仮説」です。1989年英国の疫学者が提唱しました。彼はアレルギーを持つ人々を調べ、兄弟の数が多いほど、また特に兄や姉が多いほど、アレルギーの有病率が下がることを報告しました。免疫をつかさどる免疫細胞には2種類があります。片方はウイルスや細菌などの感染から身体を守るのです。もう一つはアレルギーへと免疫を傾けるものです。衛生環境が良くないとウイルスや細菌が多く、感染症を起こしやすい環境が発達します。しかし、衛生環境が良くなると、アレルギー

を起こす免疫細胞の活性が高まるのです。衛生環境が近年のように改善し、また少子化により兄弟から感染症をもらうことが少なくなると、アレルギーをおこしやすくなる、という図式が成立します。ただし、衛生仮説はまだあくまで仮説の域を出ておらず、これだけですべてのアレルギーを説明できるわけではありません。

■皮膚を通してアレルギーが成立

アレルギーの感作は、皮膚を介して起こるという考え方が「経皮感作」です。約20年前に、とある洗顔せっけんで、小麦アレルギーが出現するという事件が多発しました。これは、この石鹸に加水分解小麦（グルパール19S）が含まれており、このためこの石鹸を使った人の一部で小麦アレルギーが起こったのです。

それまで小麦アレルギーはコムギを食べたのちに、一定のヒトにアレルギーが起こるのだと信じられていました（経口感作）。しかし、実は洗顔をした際に、皮膚や目の周囲から石鹸に含まれるこの小麦成分が皮膚を通して吸収され、体内に入って感作を生じたものでした。したがってヒトでは、その後パンなどの小麦を食べた後に、あるいは小

麦を食べ直後に運動をするとアナフィラキシーが起こるのです。

従来、食物アレルギーはアレルギーを口から食べて発症するものと考えられていたのですが、最近では皮膚を介してアレルギーの感作が生じることがわかりました。2008年英国の小児科医が、アレルギーの感作は口からでなく皮膚から起こるといって、「二重アレルギー」を提唱しました。最近では食物アレルギーに対して、除去食ではなく、医師の厳格な指導の下に少しずつ食べさせて免疫寛容を得、アレルギーを克服しようとする動きが広がってきています。ピーナッツや鶏卵なども、食物アレルギー予防のため医師の監督下に早めに少量ずつ食べさせる試みがなされています。

皮膚から感作されるアレルギーを防ぐうえで、スキンケアも重要です。肌が荒れて皮膚のバリア機能が障害されると、アレルギーが皮膚の中に侵入しやすくなり、感作が成立しやすくなります。したがって、保湿クリームなどによる肌のお手入れは、経皮感作によるアレルギーを予防するものです。

■エジプトに旅行してきました

1月に休暇をいただき、エジプトに行ってきました。2月にイランでの戦争が勃発する前で、ぎりぎりのタイミングでした。アフリカ大陸の地を踏むのは初めての経験です。気候は日本の春頃で、12月から2月頃がベストシーズンとのこと。これ以外の季節は暑すぎるそうです。日中はかなり暑くなりますが、夜はかなり冷え込みました。時間帯は日本から7時間遅れ。ルクソールで王家の谷（王の墳墓がたくさんあります）を探訪し、ナイル川をクルーズ船で南下。アスワンでアブシンベル神殿の巨大立像を見学。その後カイロに戻り、古代エジプト古王国時代に建設されたギザの3大ピラミッドを訪問。最大のクフ王ピラミッドの中に入りました。腰をかがめて長い坂を上りますが、当日夜、ふくらはぎではなく前脛骨筋がつるといふ初めての経験でした。最後にオープン間もないエジプト大博物館で、ラムセス2世の巨大立像やツタンカーメン王の棺を堪能しました。健康寿命がそろそろ尽きかけている私ですが、家内と（足腰の立つ）残された数年（？）を有意義に過ごしたいものです。

2026年5月29日第1回理事会承認
2026年6月19日第1回評議員会承認

2025年度 決算概要

2025年度については、収入に関してリハビリの人材を増員し脳リハビリテーション加算Ⅰの増収や高額医薬品を使った治療を受ける人が増えたため医療費収入が前年度より45,000千円増収に繋がった。通所においては、祭日を開所する取り組み等を実施し前年度より+6,300千円の増収となった。助成金として、賃上げ物価上昇支援補助金(18,000千円)、物価高騰に対する支援金(2,700千円)、電子処方箋導入促進費補助金(1,000千円)を受領した。また銀行金利が上昇したことから、前年度よりも3,100千円多く受取利息配当金を受領した。

人件費については、前年度と比較して8,800千円増加した。欠員補充や定期昇給、期末における一時金の支給などが主要因であるが、欠員が続いており現場の負担が大きい状況は変わらない。対策として職員の家族に職場を見てもらう企画や施設見学会の回数を増やす取り組みを行った。

事業費については、前年度より+6,800千円となった。差額が大きいものとして医薬品費(+12,000千円)、診療・療養等材料費(△2,000千円)、水道光熱費(△2,600千円)であった。

事務費については、前年度と比較して+96,000千円となった。主なものとして外壁塗装工事分を計上したため増加した。

資金収支計算書において、補正予算対比で収入については102.1%、支出については98.7%の執行率であった。最終の資金収支差額は、土地購入資金積立金384千円、50周年記念計画積立金819千円、中長期計画積立金27,146千円、基本財産減価償却積立金54,907千円に積立てを行い、当期資金収支差額が59,256千円となった。

事業活動計算書については、前年対比で収入89.7%、支出については106.1%となり、最終の当期活動増減差額が△64,546千円となった。中長期計画積立金から使用している修繕分(120,000千円)を差し引きすると約+55,454千円となる。

資金収支計算書

自) 2025 年 4 月 1 日 (至) 2026 年 3 月 31 日 (単位：円)

勘定科目			予算 (A)	決算 (B)	差異 (A)-(B)
事業活動による収支	収入	児童福祉事業収入	4,435,000	4,779,472	344,472
		障害福祉サービス等事業収入	588,388,000	608,517,004	20,129,004
		医療事業収入	917,695,000	926,224,933	8,529,933
		経常経費寄附金収入	35,222,000	38,082,625	2,860,625
		受取利息配当金収入	5,100,000	5,434,113	334,113
		その他の収入	5,685,000	6,030,916	345,916
		事業活動収入計 (1)	1,556,525,000	1,589,069,063	32,544,063
	支出	人件費支出	1,129,433,000	1,117,676,788	△ 11,756,212
		事業費支出	195,437,000	192,963,438	△ 2,473,562
		事務費支出	276,417,000	270,319,858	△ 6,097,142
事業活動支出計 (2)		1,601,287,000	1,580,960,084	△ 20,326,916	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		△ 44,762,000	8,108,979	52,870,979	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	0	0
		固定資産売却収入	0	0	0
		施設整備等収入計 (4)	0	0	0
	支出	固定資産取得支出	14,350,000	13,776,125	△ 573,875
		施設整備等支出計 (5)	14,350,000	13,776,125	△ 573,875
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		△ 14,350,000	△ 13,776,125	573,875
その他の活動による収支	収入	長期貸付金回収収入	0	0	0
		積立資産取崩収入	140,500,000	140,500,000	0
		その他の活動による収入	2,012,000	2,011,970	△ 30
		その他の活動収入計 (7)	142,512,000	142,511,970	△ 30
	支出	長期貸付金支出	0	0	0
		積立資産支出	83,400,000	83,255,841	△ 144,159
		その他の活動による支出	0	0	0
		その他の活動支出計 (8)	83,400,000	83,255,841	△ 144,159
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		59,112,000	59,256,129	144,129
	予備費支出 (10)		0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	53,588,983	53,588,983	
前期末支払資金残高 (12)			490,126,000	490,125,993	△ 7
当期末支払資金残高 (11)+(12)			490,126,000	543,714,976	53,588,976

令和8年度 全国重症心身障害施設協議会報告

理事長 宮崎 信義

令和8年度の全国重症心身障害施設協議会は、令和8年5月21（22日）にTOC有明（東京都江東区有明）で開催され、393名の参加者（126施設）が集いました。近年は大きな制度改正がなく、「医療的ケア児」支援が重点課題でした。今回も同様ですが、「医療的ケア児」支援が在宅支援に続いて、契約入所を含む「重症心身障害児者」が対象となることが明確になっていきます。重症心身障害児及び重症心身障害者は、医療が不可欠な重度重複の障がいであることが、より具体的に明示されてきたものと思います。そのような現状を、子ども家庭庁からの行政説明やシンポジウム・特別講演の内容から報告いたします。

行政説明

子ども家庭庁支援局障害児支援課移行支援専門官の岡崎俊彦氏の行政説明から、今後の「障害児入所施設の在り方に関する検討会」設置の主旨説明がなされました。障害児入所施設については、平成24

年の児童福祉法改正において障害種別ごとの体系から「福祉型」「医療型」に再編され、平成26年の「障害児支援の在り方に関する検討会」、平成30年の「障害児入所施設の在り方に関する検討会」の報告を踏まえ、その在り方について一定の方向性が示されました。具体的には、平成24年の児童福祉法改正で、18歳以上となった場合の特例は令和6年3月31日に終了となったこと、次期障害福祉サービス等報酬改定や制度改正を見据えて障害児入所施設の現状や課題等を把握するとともに、「今後の障害児入所施設の在り方に関する検討会」を開催することでした。

シンポジウムから

シンポジウムのテーマは、「『スベシヤル』な活動を日常へ」重症心身障害児者の「楽しむ」を支える支援とは」でした。3人のシンポジストによって発題されました。要旨について述べて見ます。

シンポジウムⅠ 「片想いが両想いになるまで」その過程を

あなたと共に楽しむ」。言葉でのコミュニケーションが難しい重症児者となかなか本音を口にしない親御さんたちとどうしたら両想いになれるのかを日々考えながら、一緒に片思いから両想いへの道のりを歩んでいきます。2018年10月に開所した「にの」(多機能型ケア事業所)は、中古住宅を改装し定員5名と生活介護定員7名でスタートしたものです。見えてきた課題として、医療的ケアのある方が利用できる短期入所が1か所1床しかないこと、医療的ケアの未就学児をお預かりする場所がないことがあり、更に2023年度から、児童発達支援・放課後等デイサービス(合わせて定員5名)、生活会議(定員10名)、短期入所(定員8名)と拡大して行きました。大切にしていることは、①明るく楽しく安全に(研修や情報共有ノート)、医療安全マニュアルの活用。②いろんな経験をしようという内容でした。

シンポジウムⅡ 「夢の実現」団体旅行プロジェクト「ぼんぼやーじゅう」は、東京スカイツリーへの旅行で、28名のメンバーが参加しました。良い旅と良い人生という意味から、「ぼんぼやーじゅう」と命名されたものです。

人とその家族の為の旅行とイルカとの触れ合い体験「ナイアデ叶える樂園の夢」。障がいがある人もない人も、誰でも参加できるハワイへの旅を企画し、プール&海水浴、イルカセラピー、アロマセラピー、ミュージックセラピー、レスパイトケア、国際交流(他者との交流)を実践した活動紹介でした。

特別講演から

テーマは、「安楽死が合法の国で起きていること」親の立場から見つめ直す重い障害のある人の意思決定」という重い内容でした。要旨は、安楽死の合法化がなし崩し的に拡大していく「すべり坂」状態であること、数々の「すべり坂」として安楽死の増加、対象者の拡大、指標の変容(終末期↓重症児者や認知症の方など)がある、とのことでした。また親の立場から見直す意思決定について、①親への配慮…親たちは我が子について、専門職には測り知ることが出来ない知り方をしている。

②なぜ親は「決められない」のか？(医学的合理性だけでなく、親が心で納得できるための話し合いが出来ないのか)。親が立ちすくみを乗り越えられるために必要なのは「判定」

ではなく「共感」です。この課題は深く多様な生命観・人間観が求められます。記録としてはここまで留めます。

重症心身障害施設の現状と今後の展望

今後の「障害児入所施設の在り方に関する検討会」設置の主旨から、医療福祉の現況と今後の制度の推移や利用者やご家族の福祉や経済的負担などの具体的な状況と見通しは未だ明確に把握できないようです。最も重い障がいであることが、医療や福祉の発展によって健康保持や生活の質の向上に進むことを願います。

おわりに

今年度の全国重症心身障害施設協議会では、具体的な施策には未知数の領域を覚えめました。またシンポジウムと特別講演では、旅行や療育活動へのチャレンジが紹介されました。特別講演では、保護者(ご家族)への配慮が述べられました。重い課題でもあります。重症心身障害児者のご家族にとつての医療福祉環境や地域社会が更に向上していくことを願います。

第60回 福岡県重症心身障害施設協議会 報告

センター長／理事 岩永 知秋

福岡県重症心身障害施設協議会は、福岡県の重症心身障害児者施設、13施設（国立病院機構3病院、公法人立施設10施設）および福岡県福祉こども政策部（以前は福祉労働部でしたが、今年度から名称が改まったそうです）障がい福祉課の参加を得て、定期的に年2回意見・情報交換などを行う貴重な機会です。今回は第60回と節目の開催となりましたが、2026年6月11日木曜日に久山療育園にて、午後2時から2時間ほど討議を行いました。参加施設は12施設と、福岡県福祉こども政策部障がい福祉課自立支援係からも1名（山口主任主事、初回参加。現在福岡県議会会期中のため課長などは不参加）のご参加をいただきました。司会は久山療育園重症児者医療療育センターの岩永知秋（司会。パートナーの国立病院機構福岡病院吉田誠院長は体調不良のため欠席）が務めました。



協議会では当園宮崎理事長から、5月21、22日の2日間に行わった東京都（責任主管はワゲン福祉会ワゲン療育病院）で行われた全国重症心身障害施設協議会の内容が詳細に報告されました。行政説明として「障害児関係施策の動向」、シンポジウムでは「スペシャルな活動を日常へ」のテーマで看護師さんによる3題の報告、特別講演は「安楽死」に関する内容での講演、その他福祉行政に関する報告などをわかりやすく説明されました。

各施設からの報告は、今回から報告書式を整え（島津室長、ありがとうございました）、それに沿った数値報告が行われました。その報告とともにいくつかの問題について意見が出されました。入所利用者の中高年齢化と、それと密接に関連する保護者の問題はいずれの施設も抱える問題で、それぞれの将来像の把握とそれにかかわる運営の取り組みが要求されます。一方若年者の受入れも取り組むべき重要な課題と考えられますが、要求される医療レベルやそれに必要な設備、機器の問題もあり、そう容易ではなさそうです。感染症に関して、昨冬市中で大流行したインフルエンザの施設内流行は、どの施設も幸いなかったようです。新型コロナウイルス感染症はこの冬の多発・流行クラスターなどはありませんでしたが、面会や外出・外泊などに関する制限には、施設によりかなり差がありそうです。ちなみに当園は比較的制限が緩和されている方だと感じました。合併症などで重症化したときの施設の対応は、周囲の医療環境、ご本人や保護者の意向、施設の設備などにより影響されるため、個別的に考える方針が多いようでした。短期入所のニーズは高いものの、施設の病床の具合に



よりこれも様々な状態にあるものと推察されました。また介護福祉士、生活支援員などの雇用に関して、やはり人手不足が共通する悩みとして挙げられました。国内からの応募が極めて少ないことを踏まえて、外国人雇用への動きも加速しているようです。BCP（事業継続計画）に関して、大雨や台風、地震などの自然災害、COVID-19を含め新興感染症流行の際の、本協議会をプラットフォームとする協力体制は、今後も共に取り組んでいくべき課題と考えられました。

2027年の日本重症心身障害福祉協会西日本施設協議会は、2027年11月18、19日に久留米シティプラザで、医療福祉センター聖ヨゼフ園、ゆうかり医療療育センター、やまびこ学園、方城療育園いきがい、療養介護事業所ひなた家の5施設が共同で開催予定とのことです。開催に際しての協力の依頼がありました。さて、本協議会は年2回、6月と12月の開催ですが、あいにくどちらも福岡県議会の開催時期と重なり、障がい福祉課からの参加が困難なタイミングです。本来、行政にも積極的に参加していただき、現場の声を届けたいところですが、日程の問題は今後の懸案です。なお、今回初めて参加された山口主任主事は、各施設のいろいろな事情や意見を聞くことができ、大変ためになりました、とのことでした。

次回は今年12月10日（木）午後2時から、国立病院機構福岡病院で開催の予定です。



＊＊ ＊＊ ＊＊ ＊＊ ＊＊ 病棟イベント ＊＊ ＊＊ ＊＊ ＊＊ ＊＊



すてきな音と声にみんなうっとり



SHJのみなさんと



「SHJと楽しむ音楽のひととき」

スマイルホスピタルジャパン（SHJ）の皆さんによるギターとパーカッションの生演奏に女性ボーカルの優しい歌声が会場を包み込み「オーシャンゼリゼ」やビートルズの名曲が会場を彩り利用者の皆さんもうつとり聞き入る心癒されるひと時となりました。

（めぐみ棟 保育士 貝原 成）



ん〜この曲知ってる！！



次はなんの歌かな



あ〜ここちよい！！

「みんなで喫茶活動」

蒸し蒸し暑い時期になってきました。暑い日々ですが、ひかり棟の方々は体調を崩さず元気に過ごされています。

6月16日にみんなで美味しいものを食べよう☆ということで喫茶活動を行いました。

今回のテーマは抹茶・抹茶・抹茶。抹茶のカステラや抹茶のブッセや抹茶プリンと準備しました。

事前に何が食べたいかを決めてもらうと、一人ひとりこれが食べたいとじっくり介助者の方と選び楽しみに

されておられる様子でした。

当日はボランティアの方におやつ屋さんになっていただき、自分の選んだお菓子カードを持って交流ホールへ受け取りに行くこと嬉しそうな笑顔が見られていました。

もらってきたおやつをしっかりと手に持ったり、抹茶おやつに合うドリンクを選んで美味しくもぐもぐ味わっていました。

喫茶活動は皆さん楽しい活動の一つでおやつのお話をすると楽しんで参加されている姿を見て次回は何のおやつにしようかなーと計画するのが楽しみです☆

（ひかり棟 保育士 田崎加奈子）



食べるぞー！



カステラだっ☆



嬉しいなー！



大好きなあんこ（^^♪



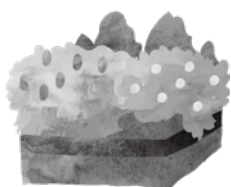
抹茶とスタッフとハイチーズ♪



めぐみ棟より



このお花、レトニアって
言うんだよ！！



ボクのお花
すてきでしょ～！！



私はアゲラタムにしたよ！！



私、お花大好き！！

「お花いっぱいプロジェクト」

今年もめぐみ棟ガーデンに、マリーゴールドや日々草、ケイトウ等、色とりどりのお花をたくさん植えました

お散歩の途中には、お花を眺めたりお水やりをしたり咲き始めたお花を見つけ、その成長を感じながら毎日楽しい時間を過ごしています。

色鮮やかな花々がお散歩の楽しみとなり、また一つみんなの楽しみが増えました。

(めぐみ棟 保育士 貝原 成)

ひかり棟より

みんなで外気浴



してみるぞー、それ！

「外が気持ちいいなー！」

みんなで園庭に出て、気持ち良い風に当たりながら外気浴やお散歩をしたりして過ごしています！スタッフがしゃぼん玉をしていると・・・

「僕もしたいー！！」とニコニコしながら一緒にしゃぼん玉をしてくれている姿があったり、飛んでいくしゃぼん玉を見ていたり様々な反応が見られていました☆
気候の良いときはたくさんお外に行きたいと思います♪

(ひかり棟 介護福祉士 長嶋奈美)



僕も出来るよ☆



大きいしゃぼん玉だなー



外は気持ちいいなー

通所で頑張っています

「待ちに待った運動会がキター！」

梅雨入りした6月の第一週目に通所の運動会ウィークが始まりました。今年の競技は「風船運びゲーム」に決定。各曜日対抗戦で最速タイムを競うことになりました。それではいよいよスタートです。風船を運ぶ道具は「うちわ」

「お助け棒」と自分の手や足で2m先まで運んで次の方にタッチします。職員と一緒にうちわで扇いだり自分の手で叩いて飛ばしたり、キックしながら前に進んだりみんな自分の得意な方法で運ぶことが出来ました。

みんなから応援されるといつもよりも元氣いっぱい笑顔で頑張ることができました。今年の優勝は木曜日の7分23秒でした。おめでとうございます!!



「今から運動会を始めます！」



うまく運べるかな？



風船めがけてえいっ！



早く次の人へ！！



よいしょ！よいしょ！

児童
発達

宇
そ
宙

「元氣いっぱい
宇宙の子どもたち」

今年度は4名のお子さまでのスタート。火曜日、木曜日クラスで毎週楽しんでいます。

春になり近くの桜を見に行ったり、大型遊具を使って全身で遊具ならではの揺れを感じたり、いろいろな遊びを展開しています。またペランダでの菜園ではミニトマトを鉢に植えました。土や苗に触れたり、トマトならではの葉っぱの香りを感じながら植えることが出来ました。土への抵抗も少なく自分から手を伸ばして触れる姿が見られました。また製作遊び、光遊びなども楽しむことが出来ました。



みんなのイチゴが
そろったよ！



叩くと大きな音が
なったよ。



飾り付け
上手にできるかな？

運動会がんばったよ！



6月には通所運動会活動が行われました。今年度は成人さんとの運動会活動に参加させて頂きました。たくさんの方の利用者さん、スタッフとのふれあいを通して、笑顔で楽しむことが出来ました。そして最後には大きなパラバルーンが行われ、その大きさに圧倒されながらも、動きに合わせて追視し、ふんわりと動くパラバルーンを天井に感じ、まるでテントの中に入ったような感覚になりました。いろいろな経験を通して、次へのステップにつながっているようです。今年も大いに楽しみたいと思います。

(通所 保育士 汐田美賀)

児童発達支援事業「宇宙」
Instagramやっています

療育の様子をご紹介します。
QRコードよりぜひご覧ください



重症者ホームひさやまより

「ペッタン分身の術で、開設祭に参加するぞー！」

6月中旬の日曜日、グループホームでは利用者さんと支援員で開設祭に向けた制作活動を楽しみました。今回は手形アート！グループホームの皆さんの分身となつて、いざ開設祭に参加です！

自分で好きな絵の具の色を選び、支援員が手のひらに筆でヌリヌリ、白い画用紙にペッタンコ！

「(支) 何色にしますか？赤、緑、黄色、水色、茶色…」(利) ピクッ(それがいい！)」「(支) さあ塗りますよー心の準備はいいですか？！いってきますよー」(利)



もっとほめて♪



まんぞく、まんぞく♪

ヒイツ！(き、きもちワル…良い?)」「(支) 次は紙を手のひらにつけますよーグイグイ、どうだあ。ペリッ。おおおー」(利) ジー(いいねとニヤリ)」「(利) ジー(え、もう終わり?)」

最初にあった戸惑いと好奇心の表情は、手のひらに絵の具を塗った瞬間から「ワクワクドキドキ」へと変わっていき、「無言の凝視(つぎは？つぎは?)」の期待となっていました。作品が出来あがり集まった手形アートは、個性的で色とりどりの「もうひとりの利用者さんたち」になっていました。

皆さんの手形アートが開設祭でどのような演出になっているか乞うご期待ください♪

(重症者ホーム 療育員 佐藤吉幸)



くすぐったいヨ～

「家庭菜園スタート！」

グループホームでは毎年、家庭菜園に取り組んでいます。ベランダはとても日当たりがよく、様々な種類の野菜を育てるのにピッタリです。利用者の皆さんに、どんな野菜を育てたいのか投票形式で聞いたところ、ピーマンと大葉に票が集まりました。

そこで、今年はトマトとオクラの他に大葉とピーマンを育てることになりました。毎日の水やりも今後は利用者の皆さんが交代で当番をします。育てた野菜はホームのスタッフが調理し、利用者の皆さんで美味しく食べるので、皆さん収穫の時がとても楽しみのようです。

(重症者ホーム 介護福祉士 松本ひらり)



皆で大葉を育てよう♪



土の香り♪



大きく育ってね♪



久山町東久原地区 モルツツ大会に参加しました

みなさんは、モルツツというスポーツをご存じでしょうか。モルツツとは、フィンランド発祥のアウトドアスポーツで、木の棒「モルック」を投げて木製のピン「スキットル」を倒し、ちょうど50点を目指すゲームです。大人も子どもも高齢者も障がい者もみんな楽しめるスポーツといわれています。

東久原地区ではここ数年、運動会に代わりモルツツ大会が開催されています。有難いことに今年も地域からお誘いがありました。

ただ、外出するには乗り越えるべき壁がいくつかあります。一つは天気。近頃の5月は大変暑いので様々な対策が必要です。

そしてもう一つが人です。10名の利用者がみんな出かけるには、10名以上の介助者が必要です。一ヶ月前から、ポスターを掲示し、一緒に行ってくれる方を募りました。一人二人と名乗りを上げてくれ、最終的には12名のボランティアが集まりました。感謝です。

会場は歩いて5分の公園。出迎えてくれた役員の方々は「よくきてくれました」。

いらつしやうい」と温かい表情でした。

チームに分かれ、地域の子どもたちも一緒にゲームの始まりです。木の棒は直径5.9センチ。すこし重たく、利用者にとっては握ることができても遠くへ投げるのは難しいものです。

「近くでどうぞ」温かい声を掛けてくれたのは、地域の方でした。

握ることができてる方、肘で押す方、介助者と一緒に転がす方。利用者はいろんな方法で、ピンを倒します。「がんばれ」「もう少し」と子供たちの声。一生懸命狙いを定めている利用者たちに、温かい視線と、拍手が送られました。倒れても、倒れなくても、一緒にこの時間を過ごすことが、何より大切であると感じられました。

地域共生社会とは、住民や地域の多様な主体が世代や制度の枠を超えて互いに支え合い、誰もが自分らしく暮らせる社会のことをいうそうです。私たち一人ひとりが多様性の一部であることを受け止め、地域づくりの一端を担うものとして、できることを考えていきたいものです。

これからも地域と交流する機会を多く持ち、自然な支えあいが生まれることにつながればと思います。
(重症者ホーム 療育課長 陣内晶子)



パン食い競争！



良い天気♪



当てる！モルック！



触ってみようかな



ねらいをさだめて



肘で押します！

五十周年記念事業・開園祭のご紹介



久山療育園は、重症心身障害児・者の方々、その関係者の方々と共に歩み、今年9月で開園五十周年を迎えます。このため、園では二つのイベントを予定しております。

一つ目は、9月23日(水)開催の第50回の開園祭で、例年のプログラムに加えて特別講演会を行います。講師には、岡山県の旭川荘元名誉理事長の末光茂先生にお願いしております。末光先生は、障害児者施設の役割や使命を長年問い続け実践を重ねて来られた方であり、これからの障害児者福祉の在り方にも深い造詣をお持ちの先生です。皆様には是非直接ご講演を聴いていただきたいと願っております。

●創立五十周年記念開園祭

期 日 2026年9月23日(水・祝)
会 場 久山療育園
地 域 交流ホール他

内 容

10:00～12:00

記念礼拝・特別講演

末光 茂氏

(前社会福祉法人旭川荘理事長、
川崎医療福祉大学名誉教授)

13:00～15:00

各種イベント

出店(飲食店)もあります。

※スケジュールは変更される場合があります。

二つ目は、9月12日(土)にこれまでのご支援に感謝して、記念式典とコンサートを予定しています。記念コンサートは「かわらなければ」沢知恵コンサート」と題し、ハンセン病療養所に長年関わってこられたシンガーソングライターの「沢知恵(さわともえ)」さんを迎え、皆様への感謝の気持ちを込めた歌声をお届けしたいと願っています。入場は無料ですので、整理券をお求めの上ぜひお出かけください。会場は、レスポール久山(久山療育園より車で3分程)です。

●創立五十周年記念式典・コンサート

日 時 2026年9月12日(土)

13:30～16:00

会 場 レスポール久山 樺ホール
内 容 第一部 記念式典

第二部 記念コンサート

※詳しくは、ホームページをご覧ください。



沢 知恵さん
(シンガーソングライター)





早良キリスト教会
牧師 加山 献

「わたしたちのそばに おられる神」

「しかし、実を言うと、わたしが去って行くのは、あなたがたのために。わたしが去って行かなければ、弁護者はあなたがたのところに来ないからである。わたしが行けば、弁護者をあなたがたのところに送る。」ヨハネによる福音書16章7節

私たちは人生の中で、孤独や不安を感じることがあります。誰にも理解してもらえないと思う時や、先の見えない状況に置かれる時もあります。しかし聖書は、そのような私たちに大きな希望を語っています。

イエス・キリストは十字架にかかられる前、弟子たちに「わたしが去って行くのは、あなたがたのためになる」と言われました。弟子たちは驚き、悲しみしました。大切な先生がいなく

なってしまうからです。しかしイエスには理由がありました。

それは、聖霊なる神を弟子たちのもとに送るためでした。イエスが地上におられた時、そのお姿を見ることができたのは限られた人々だけでした。しかし聖霊は違います。国や時代を超えて、一人ひとりのそばにいてくださいます。教会にいる時だけではなく、家にいる時も、仕事や学校にいる時も、悲しみの中にいる時も、私たちと共にいてくださるのです。

聖霊は私たちの心に働きかけます。間違った道に進もうとする時には気づきを与え、苦しみの中では慰めを与え、迷いの中では進むべき方向を示してくださいます。そして何より、私たちが神に愛されていることを教えてくださいます。神は遠くにおられる方ではなく、私たちのそばにいてくださる方です。

もし今、孤独を感じている方がおられるなら、聖書の約束を思い出してください。神はあなたを見捨ててはおられません。目には見えなくても、聖霊なる神があなたと共におられます。主イエスが聖霊を遣わされたのは、私たちから離れるためではなく、いつでも、どこでも、だれのそばにもいてくださるためでした。その恵みの中を、今日も歩んでいきましょう。



ミットレーベン・ネットワークより



街頭募金で募った寄付金を
献金いたしました。

いつも重症児者と共に生きる「ミットレーベン・ネットワーク」の活動にご協力をいただき、有難うございます。昨年度は、2,351,266円を久山療育園に寄付することが出来ました。これは会費、ミットレーベン献金、街頭語金などを含んだ金額です。今年も久山療育園が創立されて、50周年という節目の年を迎えています。幼少年期から青年時代を経て、壮年期へと差し掛かった久山療育園を、これからも「同伴者」として支援していく所存です。どうぞよろしくお願ひします。

さて、今年も夏の「ワーク&フェス」を8/15(土)に開催する予定です。お盆に重なりますが、今からスケジュールを調整してご予約ください。草刈りで「共に生きる」汗を流し、楽しい時を過ごしたいと思っています。お待ちしております。

「ミットレーベン・ネットワーク」

会長 伊原幹治

職員の異動

(2026/4/1〜6/30)

【採用】

4/6付

▽白石 若那(療育員)

4/15付

▽スクマ (ハラワチイ(療育員))

▽安河内 鈴代(調理員)

5/18付

▽田中 まゆみ(療育員)

6/1付

▽長尾 多鶴子(事務員)

【退職】

6/18付

▽原田 美香(介護福祉士)

6/30付

▽奥村 恵美子(准看護師)

▽木村 綾子(保育士)



ご協力ありがとうございました

(2026年3月1日～5月31日) 敬称略

【法人】

一般献金

安部聖子、石垣幸枝、磯寄佳果、市川八幡キリスト教会、岩永知秋、香住ヶ丘バプテスト教会、合唱集団NUNC、(株)ロジテム九州、加來徳子、北九州キリスト教会、教会と青少年委員会、高知伊勢崎キリスト教会、西南学院中学校母の会、西南学院バプテスト教会兄弟会、聖ミカエル幼稚園、高須キリスト教会、竹市志津、塚本吉興、東洋英和女学院中高部宗教委員会、西落合キリスト教会、日本バプテストシオン山教会、日本バプテスト篠崎キリスト教会、日本バプテスト連盟諫早キリスト教会、日本バプテスト連盟大分キリスト教会、日本バプテスト連盟豊橋キリスト教会、日本バプテスト連盟東大阪キリスト教会、花貫千秋、久山療育園手作品売上、福岡アルミ工業(株)、防府バプテスト教会、森本澄子、八代バプテスト伝道所、若松バプテスト教会

(以上1, 263, 491円)

【重症者ホーム】

一般献金

自動販売機売上献金、井上美佐子、久山療育園献金箱(PAYPA)、匿名

(以上3, 057, 392円)

【施設】

一般献金

大塚利一、合屋和馬、古賀和男、古賀バプテスト教会、高松常磐町キリスト教会、田中節子・由美、日本バプテスト連盟仙川キリスト教会、松尾貴光・勇一、松本蟻ヶ崎キリスト教会、横溝愛子

(以上3, 110, 444円)

献品

磯部菜摘(ペアグラス)、猪城古(雑巾他)、上村千春(フェルト生地)、お針の会関祐子(タオル他)、甲斐文士(ボールペン)、金山正子(タオル他)、草場貴子(葉書)、久保山信(葉書)、末田初恵(葉書)、田中由美(葉書)、福田一枝(タオル他)、森本澄子(手提げバック)

(以上10, 200円)

【ミットレーベン・ネットワーク】

2月分街頭募金献金分、3月分街頭募金献金分、2025年度献金分

(以上2, 031, 102円)

献金申込先

- 《郵送》
社会福祉法人 バプテスト心身障害児(者)を守る会
〒811-2501 福岡県糟屋郡久山町大字久原 1869 久山療育園重症児者医療療育センター内 ☎(092) 976-2281 (代)
- 《郵便振込》 郵便振替【01720-8-24404】
名義：バプテスト心身障害者を守る会
- 《銀行振込》 西日本シティ銀行久山支店 普 71888
名義：バプテスト心身障害児(者)を守る会
理事長 宮崎信義
- 《ホームページ》 当センターホームページから、クレジットカードによる寄付が可能となっています。「寄付金のお願い」より開いてください。また、郵便局振込用紙もパソコン画面よりダウンロードすることができますのでご利用ください。
個人、会社共に免税の対象になります。
メール：hisayama@hisayama-smid.jp クレジット献金は
こちら→



メモ帳

- 【4月】▽1日～2日 新入職員オリエンテーション ▽1日 通所始園式、多機能事業所すてっぷあつぷのお菓子訪問販売 ▽6日 福岡特別支援学校 始業式
▽7日 福岡特別支援学校 入学式 ▽9日 通所お話し会 ▽10日 病棟イースター行事、空調機器更新入札説明会 ▽11日 音楽療法
▽18日 音楽療法 ▽22日 移動美容室ポエジーによる散髪
▽24日 日本福祉理美容センターによる散髪、届出保育施設等立ち入り調査、日本赤十字国際看護大学実習事前打合せ ▽26日 経営会議 ▽26日 保護者懇談会
▽28日 博多高校看護専攻科実習打合せ、ひさやま保育園との交流会
▽30日 会計士事務所往査
【5月】▽1日 新入職員入職1ヶ月後オリエンテーション
▽7日 通所お話し会
▽9日 音楽療法 ▽11日 福岡特別支援学校との指導者協議会
▽12日～13日 会計士事務所監
▽14日 全体避難訓練、福岡医療秘書福祉専門学校生実習事前訪問
▽15日 九州産業大学生実習事前訪問、監事監査 ▽18日 経営会議 ▽19日 久山町社会福祉協議会情報交換会(ランタナ)
▽20日 福岡看護大学実習打合せ
▽21日～22日 令和7年度 日本重症心身障害福祉協会 全国施設協議会
▽23日 音楽療法 ▽25日 消防設備点検 ▽27日 エレベーター定期点検、移動美容室ポエジーによる散髪
▽28日 日本福祉理美容センターによる散髪、南福岡特別支援学校高等部生2名見学、福岡県北部地区重症児者連携会議 コア会議(Zoom)、会計士事務所往査 ▽29日 第1回理事会、空調設備更新工事入札会
【6月】▽1日 ミットレーベン・ネットワーク定期総会 ▽10日 移動美容室ポエジーによる散髪 ▽11日 通所お話し会、第60回福岡県重症心身障害施設協議会 ▽13日 西南女学院中学校・高等学校見学会、音楽療法
▽15日 経営会議 ▽16日 第3回重症者ホームひさやま地域連携推進会議、認定NPO法人スマイリングホスピタルジャパン音楽会、喫茶活動
▽18日 第18回福岡県北部地区在宅重症児者連携会議、非常用発電機疑似負荷試験 ▽19日 第1回(定時)評議員会 ▽20日 音楽療法 ▽24日 移動美容室ポエジーによる散髪
▽25日 会計士事務所往査、めぐみ棟園外活動、日本福祉理美容センターによる散髪、ボランティア懇談会
▽27日 施設見学会 ▽29日 職員胃がん検診

ボランティアだより

「ボランティア懇談会を行いました」

2026年度、ボランティア委員会も新しいメンバーでスタートし、6月11日には木曜日メンバーである今中富美子さん、高木妙子さん、田口和子さん、奈良崎洋子さん、山口千恵子さん、山本加代子さん（五十音順）の6名の皆さんと懇談会を行いました。職員は療育指導室長、看護部長、地域療育部長をはじめ4月からのメンバーを加えた10名で参加し交流をさせて頂きました。

ボランティアの皆さんからは「職員に信頼してもらっていることが嬉しく頑張っている」「作った制作品が実際に使われているのを見て嬉しかった」「洗濯ものの整理に加えて利用者さんに本読みができて楽しい」「制作品の依頼内容についてもう少し情報があるとわかりやすい」など貴重な意見をたくさん頂きました。職員からは「ボランティアさんが本読みに入ってくれて利用者さんの笑顔が引き出された」「職員が慌たしいなかボランティアさんにしっかり関わってくれるのがありがたい」「ボランティアさんが療育活動に入って下さることで雰囲気がよくなる」など、ボランティアさんの存在が利用者さんのQOL向上に直結すること、今後もボランティアさんが活動しやす

【専用メールアドレス】

ボランティアに関する
お問い合わせの方法として、
専用メールがございます。

「興味があるけど、どんなことするのか心配…」
「行ってみたいけど、手続きは？」など、
いつでもご質問いただけるようになっています。
お気軽にご利用ください。

bora@hisayama-smid.jp



山田 建

歩 行 器

2026年度が早くも3か月が過ぎようとしています。創立50周年記念に向けて、記念式典・コンサート、第50回開園祭など、色々と準備を進めている最中です。その中で、「50周年記念ビデオ」を作成しています。創立に至る経緯や開設当初の様子など、50年前に戻った気持ちで改めて久山療育園の存在価値を知らされています。完成しましたら、ホームページから

もご視聴頂けるよう準備中です。どうぞご期待下さい。

5月21日、22日に全国施設協議会が東京TOC有明で開かれました。発表の一つは、重心施設の入所者が積極的に園外活動を楽しんでいる様子が紹介されました。久山療育園の入所者の皆様は、未だ幼かったころの園外行事を思い起こされる場面が多くありました。社会一般には、重度の障害を負った方が施設を出て活動（お出かけする）のはとても困難で無理なことと受け止められている中で、日常の生活にとつて

出かけることは普通の事であるとの視点から、課題はあっても工夫を凝らしてそれらを超えていく姿勢は、関係するひとり一人に大きな喜びと感動をもたらしていました。

もう一つのテーマは「死の選択」という、非常に重いテーマでありました。世界的に「安楽死」の合法化が進んでいる中で、日本においても「尊厳死」の扱いが進められてもいます。しかし、重度の心身障害を負った方々の意思決定は果たして可能なのかという疑問はぬぐい切れません。周囲の判断で意思決定がされることは、どこまで許されるのか非常に重たい問題です。生きるに値するのちか、値しないのちか、いったい誰が決められるのでしょうか。社会情勢が不安定になる時、いち早く切り捨てられてしまいうような危機感を感じてなりません。障害者が不安なく生きていける社会こそが、平和を象徴していると改めて感じさせる協議会でした。

(T・N)

職員募集

【専門職種】

- 介護福祉士・保育士・介護職員実践者研修及び初任者研修修了者（重症心身障害児者への日常生活の介助業務、食事介助、入浴介助、療育活動等）
- 看護師（重症心身障害児者への看護業務・医療処置）
- 相談支援専門員（計画相談およびケースワーク）

● 事務員（SE）

【その他の職種】

- 日常生活補助業務（洗い物、リネンの片付け、利用者の衣類の片付け、日常用具の後片付け、居室清掃、ベッド寝具整頓など）

【雇用形態】

- 「正規職員」及び「パートタイム契約職員」

【受付】 久山療育園

事務部担当課長 波田（ハダ）
TEL (092) 97612281

※詳しくは、ホームページ「重症心身障害施設 久山療育園」(<https://hisayama-smid.jp/>)またはQRコードをご覧ください。

重症心身障害施設
久山療育園ホームページ
<http://hisayama-smid.jp/>



求人情報

